

経営者保険という語
感・生命保険

執筆担当者
江利川宏行

生命保険の話である。

「経営者保険・」と
案内されると、経営者
のための特別な種類の
生命保険ではないのか
と、まず誰もが思うで
あろう。個人の生命保
険とは、何か別の枠組
みで設計された「特別
な保険」というような
イメージの仕方である。

ここで生命保険につ
いて考えてみる。
生命保険は損害保険
と違い、その内容は単
純で、簡潔なものであ
る。「生命保険は難しく
て、解りにくい」とい
う認識があまりにも広
く深く浸透しているの
ではないかと思う。生
命保険は誰もが瞬時に
理解できる単純な形を
した生命の保障と言え
る。生命保険の主契約

を分類すると、三つの
型しかそこにはない。
ましてや、「個人用・企
業用」という区別もな
く、「個人向け・企業向
け」に三つの型を商品
化していると言えるに
すぎない。

生命保険の三つの型。

定期保険

終身保険

養老保険

ところで、定期付終
身保険という言葉を保
険証券に見たことがあ
るだろうか。漢字の語
感からして、定期保険
と終身保険のダブル保
障がそこには在り、充
実した生命保険をそこ
に感じる。

化が、生命保険を難し
くしている要因のひと
つである。契約当初、
数千万円ある保険金額
は、定期保険金額と終
身保険金額の合算で表
示される。必然的に合
算の或る金額は「決ま
った期間」で保障が終
わる。残った金額が生
涯保障となるのである。
合算の割合で、定期部
分が多ければ老後の保
障は少なくなり、逆に
終身部分が多ければ高
額保障が生涯続く。組
み合わされた生命保険
を分解すると、その単
純な形が見え、解かり
にくい生命保険が理解
できる。

冒頭の「経営者保険」

さてここで、定期付
終身保険の主契約はど
ちらなのか。答えは、
終身保険である。定期
保険も主契約になりう
る保険であるが、この
場合は特約として付帯
されている。終身保険
はその名の通り、一生
涯の保障である。定期
保険とは、「定期・決ま
った期間」の保障であ
る。この、組み合わせ
による生命保険の商品

とは何なのか。一般的
には定期保険で案内さ
れる高額な生命保険で
ある。もちろん、定期
保険は個人向けの保険
にも使われている。
生命保険を考える場
合、その商品名や漢字
の語感の印象を取り除
き、その保険を形づく
る基の型をのぞいてみ
ると、保険の理解が突
然進む。